

榎原市立図書館だより

平成20年4月30日発行
第11号

榎の樹

特集:

榎原市 子ども読
書活動推進計画

4月23日
子ども読書の日

目次:

特集

2～

～5

図書館員の本棚

6

お知らせ

7

特集2

8



特集

檀原市子ども読書活動推進計画

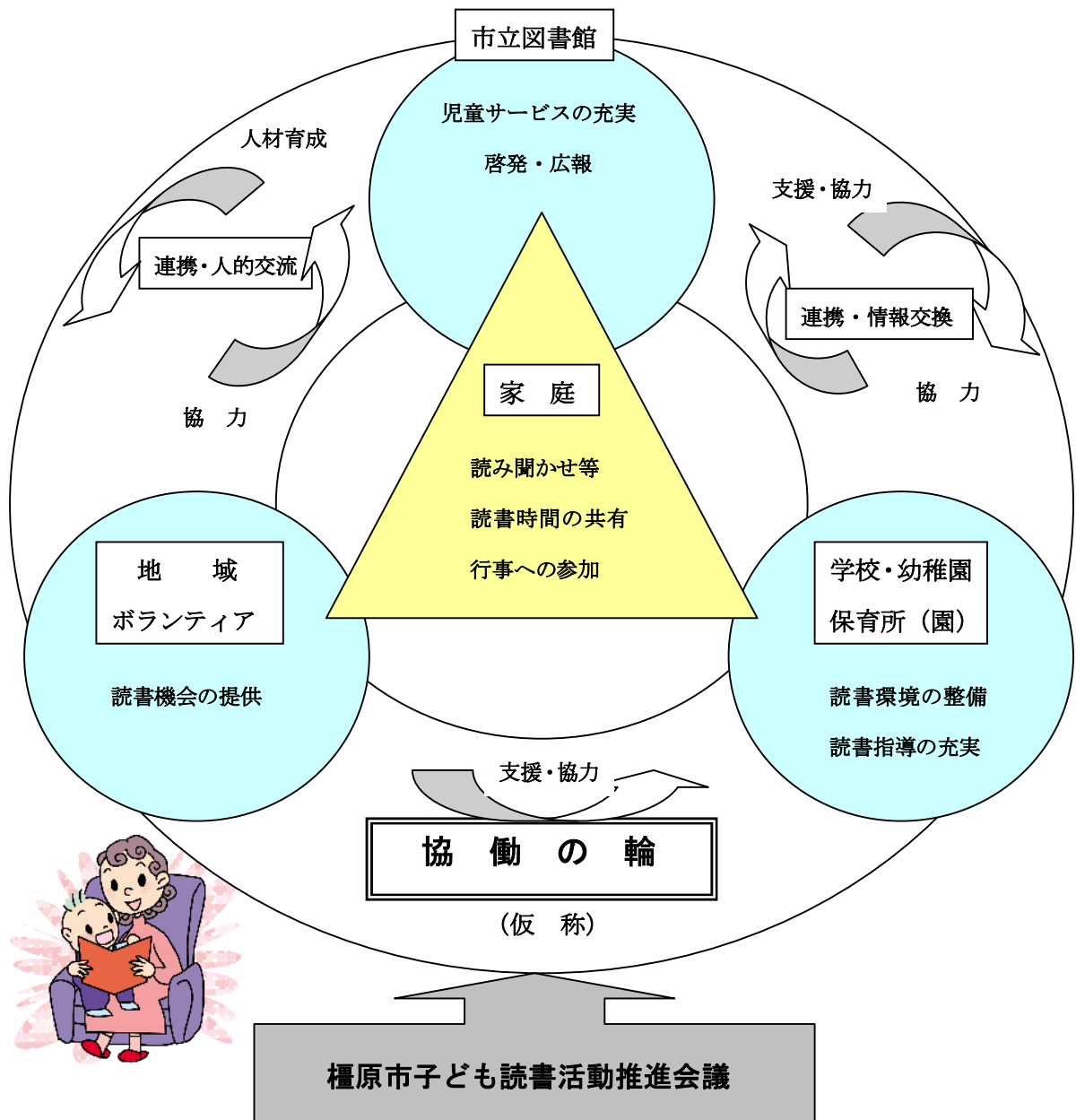
本と触れ合うことによって、子どもは言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにします。

はじめは物語の主人公と自分とを重ねて読書していた子どもも、しだいに主人公と自分を分けて物語を客観的に読めるようになります。このような経験を重ねながら、子どもは抽象的に考える力や感動する力など、人間としてよりよく生きるための様々な力を身につけてゆきます。

ひとりひとりの興味や関心を尊重しながら、押しつけるのではなく、子ども自身が本を選ぶことができるようにすることが欠かせません。読書の習慣が身につくまでは、家族をはじめとする周囲のおとなが子どもと一緒に読書をすることもひとつの方法です。

子どもと本との出会いを醸成するために、「檀原市子ども読書活動推進計画」の中で、さまざまな方策が始まろうとしています。市立図書館だけでなく、

行政や教育委員会の各部門も含めて、そして同時に、学校図書館や学校教育において、あるいは地域で文庫やおはなしの会などの活動をしている皆さんや、ボランティアの皆さんとも協働を図る必要が生じます。しかし、それだけではまだ不十分です。保護者や家族、あるいは身近に接するおとなの立場から、市民の皆さんのご理解とご協力が欠かせなくなってきました。

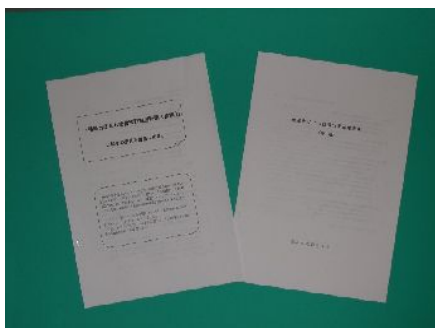


橿原市子ども読書活動推進計画策定の経緯

平成13年に読書活動推進に関する法律が制定され、平成14年8月に国の基本計画が閣議決定されました。また、平成15年には奈良県基本計画が策定されたことを受けて、県内の各市町村においても計画策定が進められています。

年月日	会議の内容(主なものを抜粋)
平成18年12月20日	第1回橿原市子ども読書推進計画策定検討委員会 準備会、策定委員会での議論を踏まえた実務者協議(準備会を含め9回開催)
平成19年 2月27日	第1回学校部会準備会 計画策定に関わる基本方針やスキームについて協議。 平成19年 8月24日 第1回学校部会ワーキング会議(準備会を含め10回開催)
平成19年 3月 2日	奈良県子ども読書活動推進計画担当者会議 平成19年10月26日 第2回橿原市子ども読書活動推進計画策定委員会 各ワーキング部会の報告に基づいて作成された計画素案を検証、基本的に承認。
平成19年 4月12日	第2回橿原市子ども読書活動推進計画策定検討委員会 平成19年11月27日 計画素案について市民の意見を広く聴取するためパブリックコメントを募集(12月20日まで)
平成19年 4月24日	第1回地域家庭部会準備会 平成20年 1月18日 地域・家庭部会、学校部会ワーキング会議最終回。パブリックコメントを計画案に盛り込むための調整作業。
平成19年6月27日	第1回橿原市子ども読書活動推進計画策定委員会(教育長訓令甲第6号) 平成20年 2月14日 第3回橿原市子ども読書活動推進計画策定委員会 調整を終えたワーキング部会案を策定委員会案として承認
平成19年7月26日	第1回地域・家庭部会ワーキング会議 平成20年 2月29日 橿原市定例教育委員会会議 答申を受け、策定委員会案について審議

貴重な意見が多数寄せられたパブリックコメント。詳細は「橿原市子ども読書推進計画 参考資料」をご覧ください。



第3回橿原市子ども読書活動推進計画策定委員会



※ 図書館2階レファレンスカウンターと情報公開室にて、「橿原市子ども読書活動推進計画」を閲覧することができます。詳しくは窓口でおたずねください。また、図書館ホームページ上でも公開しています。

様々な子ども読書活動推進



平成20年3月16日(日)に開催された「ぶんこまつり」(檀原文庫連絡会主催)地域で活動されている文庫の皆さんが協力して、手作り絵本を活用したスライド紙芝居やブラックライトシアターなどの催しが行われました。



おはなしボランティアによる市立小学校での読書活動推進の一例。通常の授業とは異なった雰囲気、子どもたちに読書の楽しさを伝えています。



市立中学生による職場体験授業。市立図書館での勤務実習を通じて、読書や図書、公立図書館について知見を深めています。



市立図書館が主催したストーリーテリング講習会。本という存在を媒介としながら、読書活動のより広い可能性について、市民の皆さんとともに模索を重ねています。



例年、市立図書館が主催している手作り絵本教室。「読む」だけでなく、実際に「創作する」ことの楽しさを契機として、図書に親しんでもらう一助としています。



ブックスタートボランティア講習会。健康増進課、児童福祉課、図書館が連携して、母子の皆さんに絵本を紹介する人材の発掘に努めています。

ブックスタート 絵本の時間～赤ちゃんと一緒に～

「ブックスタート」は、子どもがまだ赤ちゃんの時から、絵本とともに楽しくあたたかいひとときを持ってもらおうと、1992年にイギリスのバーミンガムで始まりました。「赤ちゃんに絵本なんて？」とビックリされるかもしれませんが、ブックスタートは、赤ちゃんと絵本を「読む」のではなく、絵本を開く楽しさを分かち合うひとときを奨励してきました。

本市においても、1歳6か月児検診において、絵本を用いた「おはなし」や、絵本の紹介を行うことになりました。併せて、素敵な絵本も一冊プレゼントします。

赤ちゃんと肌のぬくもりを共有することや絵本を介して言葉と心を通わせることを、応援してゆきます。

図書館運営委員会委員公募のお知らせ

市民の皆さんの意見を図書館活動に反映させるため、公募委員を募集します。委員に委嘱された場合は、平日の日中に開催する運営委員会に出席していただき、審議に参加していただきます。

1. 公募委員の概要

- (1) 名称
檀原市図書館運営委員会委員
- (2) 職務事項
運営委員会への出席および審議への参加。
- (3) 任期
委嘱のあった日から平成22年3月31日まで
- (4) 報酬
運営委員会に出席した場合は、檀原市が定める報酬額(10,000円)が支給されます。

2. 公募人数

1名

3. 応募資格

応募することができる者は、次に掲げる要件を満たすものとします。

- (1) 本市に引き続き1年以上居住している者で、応募時の年齢が満20歳以上の者
- (2) 公募委員に選任される日において、本市の他の審議会等の委員に選任されていない者。
- (3) 行政機関(本市を含む。)の職員(特別職を含む。)でない者

4. 応募方法

- ①小論文(標題)「檀原市立図書館における今後の課題と方向性」(800字程度)に②下記の必要事項を記した「檀原市立図書館運営委員応募書」を添えて応募してください。なお①「小論文」と、②「応募書」の様式はいずれも任意とします。

- (1) 氏名
- (2) 生年月日
- (3) 現在の職業と主な職歴
- (4) 住所、郵便番号
- (5) 電話番号
- (6) 応募の動機、自己PRなど

5. 募集する期間

平成20年5月21日(水)までとします。

6. 提出方法

下記事務局までご持参ください。

7. 選考

選考委員会を設置し、「小論文」により審査し、図書館運営委員に委嘱することが適当であると認められる方の中から選出します。

8. 選考結果の通知

応募者全員に文書で通知します。

9. 提出、問い合わせ先

檀原市立図書館運営委員公募事務局
(檀原市立図書館内)

図書館員の本棚 (2)

「ねずみのおいしやさま」

なかがわ まさふみ 作
やまわき ゆりこ 絵 福音館書店

先日、出生直後の我が子を抱いて里帰りした時、押入れの奥から、母が‘ねんねこ’を取り出してきた。今ではもう見かけることもなくなったその古めかしい用具を見た時、私は直ぐにはそれが何であるのかが分からなかった。役割を終えた後も、古布の塊と化した不要品を大切に仕舞い続けてきた母の古風さに苦笑が漏れた。

その日、母にとっては初孫になる赤子を預けて、久しぶりで実家から駅前の書店まで歩いた。店内の書棚に幾つものなつかしい絵本の背表紙を見つけた。その中に、「ねずみのおいしやさま」を見つけた時、幼い日に、母の背中ごしに覗き込んだ、小さな窓の中でストーブが燃えている動物たちの世界が、母の体温とともに、目の前に存在する光景のように突然迫ってきた。

まだ字が読めなかった頃から、母はよく図書館に連れて行ってくれたものだった。「だるまちゃんとかみなりちゃん」や「ぶたぶたくんのおかいもの」といったお気に入りの絵本のページを何度も繰り返して開くたびに、「また同じ本を借りるのね」と母は笑ったものだった。「ねずみのおいしやさま」は、そうしたお気に入りの数冊の中でも、特に愛着した一冊だった。

その絵本は、私自身が図書館員になってからも、仕事の必要に迫られて、何度も読み返してきたはずの一冊だった。だが出産を体験する以前には、一冊の絵本の存在が、幼い者や小さいものへの愛おしさとともに、胸を締め付けるようにして迫ってくることはなかった。

幾つかの絵本とともに、私は「ねずみのおいしやさま」を持ってレジに並んだ。そして、もう‘ねんねこ’を見つけることは無理だとしても、せめておんぶ紐ぐらいは買って帰らなければ、と思った。
(こ)

ブックリスト

「だるまちゃんとかみなりちゃん」
福音館書店

「ぶたぶたくんのおかいもの」
福音館書店

No
Image

No
Image

No
Image

お知らせ

(1) 畝傍中学飛鳥川再生プロジェクト

パネル展 ホタルが飛び交う飛鳥川をめざして

学校近くの飛鳥川で、生物の姿が消えたことに気づいた畝傍中学科学部の皆さんは「複雑な気持ちに」なりました。そして、かつてはゲンジボタルなどがいた環境を取り戻そうと計画します。杭を打って川を蛇行させるため土木工事事務所に許可を取り、大水で杭が流されるなどの困難も克服して、マガモの卵も見つかるまでに環境は回復します。変化を目の当たりにして、「普段の生活の中でも環境について考えるようになった」という皆さん自身の心境や、ホタルの幼虫の餌になるカワニナが増えてゆく過程をまとめたパネルを展示します。

場所・期日 2F展示コーナーにて5月末まで



(2) 資料展示

畝傍中学パネル展に共催して、図書資料の展示「水と人間、そして生き物たち」を行います。

場所・期日 2F展示コーナーにて5月末まで

(3) 対面朗読サービス

対 象

身体障害者手帖の交付の受けている方、または図書館長が特に必要と認めた方。

お申込み

本人または代理人が、事前に「身体障害者等対面朗読申請書」を提出してください。

利用日時

休館日、日曜日および祝日を除いた日の午前10時から午後4時までの間で、2時間以内。ただし、利用者が対面朗読者を伴わない場合は、朗読奉仕者の都合を踏まえ、日時を調整します。

その他

檀原市立図書館対面朗読利用要綱に基づきます。詳しくは、カウンターにてお申し付けください。

その他のお知らせ

1. おはなし会

毎月土曜日午後3時より、1Fおはなし室で下記のとおりおこなっています。(事前申込み不要)

「ちいさい子の日」

おおむね3歳～6歳児が対象

第1土曜日「絵本の読み聞かせ」

第2土曜日「ストーリーテリング」

「おおきい子の日」

おおむね小学校低学年～中学年の

児童が対象

第3土曜日「絵本の読み聞かせ」

第4土曜日「ストーリーテリング」

2. 破損図書について

図書の破損等に気付かれた場合は、返却時に図書館員までお知らせください。専用の修理材料を用いて図書館で修理しますので、家庭用セロハンテープ、のり等による各自での修理はご遠慮頂きますようお願いいたします。

檀原市立図書館

〒634-0075
檀原市小房町11-5

TEL:
0744-29-2121

FAX:
0744-21-1011

http:
[//www.ksh-lib.jp/](http://www.ksh-lib.jp/)

編集後記

子どもの読書活動推進

新緑が鮮やかさを増してきた。新年度が始まった直後の慌ただしさもようやく落ち着いた。職場や学校や、その他様々な場所で、それぞれのスタートがなされたことだろう▼私共の職場でも、子ども読書活動推進の取組が始まった。すでに実施に入っているもの、試みに着手したばかりのもの、今後も協議や調整が必要なもの。様々に、そして適切に対応しなければならない▼同時に、市民の皆さんのご理解とご協力も仰がねばならない。保護者や親族として身近に接する皆さんに、子どもと読書について想いを致していただきたい。学校や各団体やボランティアの様々な取組も、図書館の業務と同様に万能ではない▼「読書推進の名のもとに、おとなが子どもに本を強制することがないといいが。おとなに隠れて『家庭の医学』なんかを読んでいる子どもがいたら、素晴らしい」ある作家は看破した。ひとつの見識であろう▼ともあれ、選択の幅を広げるのは、おとなの責務ではないだろうか。私共の取組が、子どもたちの自主と自立を育む一助となることを願う。(館長)

「子ども読書の日」記念イベント

檀原市子ども読書活動パネル展示と関連資料の配付に併せて、下記のふたつの催しを行いました。また、奈良教育大学生による手作り絵本の展覧も同時開催しました。(4月19日～4月27日)

4月26日開催 「子ども図書館クイズ大会 この本でみつけた！」

第1問 ジャイアントパンダのしっぽの色は？ (① 黒 ② 白)

第2問 チュニジアの国旗に星はいくつ？ (① 1つ ② 2つ)

第3問 柔道が種目になったオリンピックは？ (① 東京 ② メキシコ)

第4問 アンデルセン童話はどっち？ (① しらゆきひめ ② おやゆびひめ)

成人でさえ全問正解が難しい4つのクイズに、小学生の皆さんが挑戦。児童コーナーの図書を利用して、44名の小学生がパーフェクトを達成しました。



4月27日開催 「手作り絵本教室」



奈良教育大学梶田幸恵先生と「手作り絵本の会」スタッフの皆さんを講師に迎え、親子で絵本を手作りする楽しさを実習しました。

市販の絵本とは雰囲気異なる手作り絵本のあたたかい味わいに、訪れた小学生も興味津々。



表紙の写真

檀原市立図書館は、学校や文庫を対象にした貸出サービスも行っています。図書館が所蔵する児童向け図書を活用した市立小学校での授業風景。ALTと日本の教師がそれぞれの母国語版を読み聞かせ、図書や外国語と出会う楽しさを伝えていました。 子どもクイズ正解 問1—② 問2—① 問3—① 問4—②